



校長室だより 13号

中島 悟

【キャッチフレーズ】

未来に残そう 伝え築いた 振徳商業
目指せ 三種目 日本一 !

【6月月間目標】 『交通マナーを守ろう』

(傘さし運転・無灯火・二人乗りをしない)

【今週の行事】 6月3日(木)3年学年PTA、進路体験発表会(卒業生より)

4日(金)職員研修(公開授業事前研修)

6日(日)県珠算・電卓競技大会(口蹄疫の関係で各校実施)

【部活動紹介】 珠算部、タイプ部

- | | | | | |
|---|------|-------|----------|-------------|
| 1 | 珠算部 | 旧顧問 | 工藤 公洋 | 20周年記念誌より抜粋 |
| 2 | 珠算部 | 投稿者不明 | | 30周年記念誌より抜粋 |
| 3 | タイプ部 | 旧顧問 | 谷口・佐藤・米良 | 20周年記念誌より抜粋 |

珠算部(原文)

旧顧問

工藤 公洋

我が珠算部は本校創立と同時に富家先生、上田先生のご尽力により設立され、設立時より大変優秀な部員に恵まれ第1期生の3年時(昭和47年度)に県下で負けしらずだった延岡商業高校を第19回全国高校珠算競技大会県予選会においてやぶるという金字塔をうちたてました。

それ以後、県下の全珠連主催の大会、日本商工会議所主催の大会での優勝や準優勝を数多くなしとげて今日をむかえています。

最近では、梅田先生のご指導により昭和58年度宮崎県商工会議所連合会主催第33回県民珠算競技大会で優勝を飾りました。2年前より、工藤先生が顧問をされていますが昭和63年度の宮崎県高校珠算競技大会1年生大会において久し振りに延岡商業高校をやぶるという大殊勲をあげました。また、全国高校珠算競技大会県予選会では、昭和62年度3位 昭和63年度2位 平成元年度2位、全九州高校珠算競技大会県予選会では、ここ3年間 連続2位。個人の部ですが高校の珠算競技会でもっとも注目されます応用計算の部では、昭和62年度 斉藤伸代さん、平成元年度 有衛ゆかりさんが県1位に輝きました。

現在、延岡商業高校とおおきく実力が開いていますが、すこしでも延岡商業高校に近づけるよう部員一同熱心に練習に励んでいます。

最近、3年間の全国大会・九州大会への代表選手

全国高校珠算競技大会

昭和62年度 斉藤伸代

昭和63年度 斉藤伸代 有衛ゆかり 椋山こずえ

平成元年度 有衛ますみ 椋山こずえ 島本佳澄

全九州高校珠算競技大会

昭和62年度 井上智美 青山りか 斉藤伸代

昭和63年度 斉藤伸代 青山りか 有衛ゆかり 椋山こずえ 山元恵 有衛ますみ

珠算部 (原文)

長い歴史を持つソロバンも珠算人口が減っており、私たちの珠算部もその影響はありますが、6月6日に行われた、全国・九州大会宮崎県予選会では、団体で2位、個人で1位という結果でした。それで九州大会では団体で、全国大会には個人で出場します。全国・九州大会でもよい結果が残せればとがんばっています。そして来年こそは団体1位をとり、全国大会に出場できるよう、現状に満足することなく日々、努力を重ねていきたいです。

タイプ部 (原文) 旧顧問 谷口・佐藤・米良

タイプ部は、振徳創立翌年、第2棟が完成しタイプ室のつくられた昭和47年に、知念徹先生と田畑照先生によって創部されました。当時は英文・カナ・和文タイプと、3つの部でのスタートでした。

知念先生は当時を振り返って、「試合に勝つことよりも、まず高校生としての基本的な姿勢を指導しました。機械は週に一度必ず掃除をすること、あいさつや日常生活態度もきびしくしました」とおっしゃっていました。初代部長として部の中心となったのが、谷口文子さん(英文)松本洋子さん(カナ)渡辺ツル子さん(和文)です。谷口さんは「毎朝7時からの練習・資料づくり・あいさつの徹底が印象に残っています。また練習は楽しく、終礼がおわると練習に走っていったものですよ。」と、当時を振り返られています。

そんなきびしい練習が実を結び、昭和49年には新人戦カナタイプにおいて第1位となり(落合一枝・河野文美代・大谷裕子)その後も多くの入賞を果すようになりました。

知念先生は昭和54年までの9年間、田畑先生は昭和52年までの7年間にわたり、本校タイプ部の基礎作りに多大な貢献をされています。

そして最後の全国大会出場となっているのが、昭和61年井上泰治先生が顧問をされていた時です。その時期は、富島高校や宮崎女子校が強く、練習試合でも勝てなかったのですが、自家用車に機械を10台積んでの鹿児島遠征などの成果が現われて、みごと優勝(有田佳代・井上薫・松田香織)することができました。

部長だった有田佳代さんは「練習はきびしく、苦しかったです。試験中も練習しましたし、朝練もがんばりました。また部内によきライバルがいたことも良かったです。九州大会で沖縄に、全国大会で東京に行ったことが一番の思い出です。」と、おっしゃっています。

入賞歴も多いタイプ部ですが、ワープロなどの普及により、年々大会も下火になり本校でも昭和63年に和文タイプ部が廃部となりました。現在部員数もカナタイプ部11名(2年6名・1年5名)英文タイプ部11名(2年4名・1年7名)となっています。

競技人口も減少傾向にあるなかで、いかにタイプ部を活発に明るい部活にするか、またワープロとの関係をどうするかが、大きな問題となっています。

最後に、今日まで本校タイプ部顧問として活躍された先生方のお名前を列記しておきたいと思います。

(敬称は略させていただきます。)

知念 徹 (47年～54年)	田畑照 (47年～52年)	串間友和 (48年)
今鶴美智子 (50年～55年)	中島数夫 (54年)	榎田淳一郎 (56年)
井上泰治 (55年～61年)	大毛正子 (56年～59年)	中村りつ子 (56年～57年)
鈴木政則 (57年～59年)	工藤公洋 (59年～60年)	谷口善幸 (62年)
佐藤啓子 (53年～現在)	米良文子 (59年～現在)	外山景嗣 (63年～現在)